

	意見内容	委員名	当日の回答	今後の対応	担当
1	安全で美しいまちづくりを進めているが、路上喫煙マナーの向上には至っていない。京橋地区に限らず路上喫煙禁止地区が増えるということだが、更なる取り組みが必要では。	早光委員	大阪市では市内一円禁煙という動きになっております。 現在、喫煙所の設置について議論されており、更なるマナー向上に向け、引き続き取り組みを進めます。	(当日の回答のとおり)	防災地域活性
2	有事の際の避難所対策について、電源確保が十分ではないのではないか。カセットボンベ型の発電機だけではなく、(小中学校屋上にある)太陽光発電を活用できるようにしたり、蓄電池の導入を検討してはどうか。	山田委員 熊本委員	学校の屋上での太陽光発電は環境局の売電事業として実施されておりますが、有事の際の活用も可能と聞いています。 また、小中学校に備えている発電機については、数に限りがあるので、備蓄用のLEDや、区が所有する蓄電池についても効果的に活用したいと考えております。	(当日の回答のとおり)	防災地域活性
3	防災の取組は、町会単位では行われているものの、商店街では取り組みが出来ていない。商店街にも災害リスクがあることから、来年度以降は商店街としても取り組みたいと考えている。	猪原委員	現状、商店街での防災訓練等は行っていないことから、今後は、消火施設なども活用しながらの防災訓練の実施などについて、 <u>商店街と連携し取り組みを進めていきます。</u> 商店街の取り組みに連携して行きたいと考えます。	(当日の回答のとおり)	防災地域活性
4	先日、まちづくりセンター主催の「地域活動の担い手」をテーマとした講習会に参加したが、時間の関係もあり、内容が課題認識に留まり今後どうしていくべきかということに関する話は何えなかった。 区役所として引き続き、このテーマについて取組を進めていく予定はあるのか。	谷委員	区役所としても「地域活動の次世代の担い手」と「町会加入率の低下」については、非常に重要なテーマであると認識しています。 どちらのテーマについても明確な解決策があるものではございませんが、他都市の成功事例等を学び、そこからヒントを得て各地域の特性に応じた支援を進めていきたいと考えています。	(当日の回答のとおり)	市民協働